

## 令和3年度 生存圏科学萌芽研究 募集要項

生存圏研究所生存圏学際萌芽研究センターでは、人類の持続的生存の基盤となる生存圏科学に関わる萌芽的研究を発掘、推進するために、生存圏科学の共同研究「生存圏科学萌芽研究」の募集を以下の要領で行います。多くの応募をお待ちしています。

### 【応募資格】

※年齢制限はございませんが、若手研究者のご応募を歓迎いたします。

研究代表者となれる者は、次のとおりとします。

- 常勤教員(特定有期雇用教員を含む)および国公立研究機関の常勤教員、常勤研究者(国立研究開発法人・独立行政法人等に所属する研究者を含む)で、科学研究費申請資格を有する者  
(ただし、国外からの応募の場合は、それぞれの項目に相当する者)
- その他 学際萌芽研究センター長が適当と認める者

申請は同一共同研究に研究代表者として、1件のみとします。なお、生存圏研究所教員以外の研究者が申請する場合(国外からの応募を含む)、生存圏研究所の教員を共同研究者に加え、うち1名を「生存研内の担当者」としてください。

※申請書中にある研究代表者の資格として以下の方々ご注意ください。

- 国外からの応募: 申請は可能ですが、経理を生存圏研究所内で行うため、予算執行方法や海外での研究実施方法について、事前に所内共同研究者と十分相談してください。申請書は「生存研内の担当者」から提出されることを推奨します。

また、博士研究員などプロジェクト対応の研究員が共同研究者として申請する場合には、申請自体が可能か(専従義務の有無など)所属機関で確認してください。

### 【注意事項】

- ◆ 採択された研究の研究成果の公表の際には、その論文、報告等の共著者に関連する生存圏研究所の教員を入れていただくことをご検討いただくか、難しい場合は必ず謝辞に「京都大学生存圏研究所生存圏ミッション研究(萌芽の場合は「萌芽研究」)によるもの」と明記するとともに、当該論文、報告等の別刷又は写を本研究所に提出して下さい。
- ◆ 採択された研究の成果に基づいて、発明等が生じた場合は、速やかに発明等が生じた事実を本研究所に報告してください。

【申請締切日】 令和 3年 5月 20日(木曜日)

【申請方法】 所定の申請書に記入して、電子ファイル(Word)で申請してください。申請書は、予告なく様式を変更する場合がありますので、必ず最新の様式を以下の URL(生存圏研究所ホームページ)よりダウンロードしてご記入ください。(申請書は 2 ページ以内で作成願います。)

[http://www.rish.kyoto-u.ac.jp/exploratory\\_center/joint\\_research/](http://www.rish.kyoto-u.ac.jp/exploratory_center/joint_research/)

【対象経費】 研究に直接必要な経費で、生存圏研究所での予算執行が可能なもの(「生存研内の担当者」に予算を移算し、研究全体に使用): 消耗品費、旅費、謝金、備品費、その他(通信・運搬費など)

備品は生存圏研究所に登録するものに限り、予算用途については、審査内容との関連がわかるように、できるだけ具体的に記載してください。

【交付期間】 令和 4 年 3 月 31 日まで

【交付金額】 1 申請課題につき、**最大 50 万円以内**

【送付先】 生存圏学際萌芽研究センター 事務担当 上地恭子宛  
〒611-0011 宇治市五ヶ庄 京都大学生存圏研究所  
E-mail: rish-center \* rish.kyoto-u.ac.jp ( \* を@に変えてください)

受領確認のメールを3日以内に返送いたします。確認メールが届かない場合は、上記担当までお問い合わせ下さい。

【問い合わせ先】 生存圏学際萌芽研究センター センター長 篠原 真毅  
〒611-0011 宇治市五ヶ庄 京都大学生存圏研究所  
E-mail: rish-center \* rish.kyoto-u.ac.jp ( \* を@に変えてください)

【その他】 採択課題件数は令和 2 年度 7 件。審査にあたっては生存圏科学における萌芽性、先端性を重要な評価項目の一つとします。また、複数年度にわたる継続課題について評価を下げる可能性がありますので、継続課題とすべき理由をよく説明してください。採択課題については、令和 4 年 3 月頃に予定されている生存圏ミッションシンポジウムでの発表と研究成果報告書の提出をお願いします。

【関連リンク】

生存圏研究所 研究ミッションホームページ

<http://www.rish.kyoto-u.ac.jp/mission/>

(参考) 昨年度の採択課題

[http://www.rish.kyoto-u.ac.jp/exploratory\\_center/joint\\_research/#ER\\_latest](http://www.rish.kyoto-u.ac.jp/exploratory_center/joint_research/#ER_latest)

\*申請書は2ページ以内とします。年齢は、令和3年4月1日時点の年齢を記載してください。

☐ 新規申請 / ☐ 継続申請 ※どちらかにチェックしてください。

☐ 国際共同研究 ※該当するときにチェックしてください。

1. 研究題目 (日本語および英語表記)

2. 研究内容を3行に要約してください。

3. 研究の目標

4. 生存圏科学における萌芽性ならびに先端性

5. 関連ミッション：(該当するものを残す。複数のミッションに関わる等、複合的な課題を推奨します。)

- |               |                  |
|---------------|------------------|
| 1：環境診断・循環機能制御 | 2：太陽エネルギー変換・高度利用 |
| 3：宇宙生存環境      | 4：循環材料・環境共生システム  |
| 5：高品位生存圏      |                  |

6. 研究代表者および共同研究者

A) 研究代表者

氏名：	所属機関（分野）・職名：	年齢：
電話番号：	Eメールアドレス：	

B) 生存研内の担当者

氏名：	所属機関（分野）・職名：	年齢：
電話番号：	Eメールアドレス：	

C) 共同研究者（研究代表者・所内担当者を含めて 合計 名）全員の役割分担を記載してください。

氏 名	所属機関（分野）・職名	年齢 (令和3.4.1現在)	役割・分担

## 7. 研究計画・方法

### 8-a. 要求予算額（内訳概要：備品費、消耗品費、旅費、謝金、その他）

合計 \_\_\_\_\_ 円 （最大 50 万円以内）

（内訳）

### 8-b. 旅費申請が 6 割を超え、配分額が半減された場合の研究遂行について記載して下さい。

### 9-a. 「継続」の場合、これまでの進捗と、得られた成果がどのように本年度の計画に反映されているか説明してください。また論文成果がある場合は記載してください。

### 9-b. 過去 3 年間に、生存圏研究所から別枠で研究助成を受けた場合、あるいはこれから応募する予定がある場合には、本応募との関係について説明してください。